

No. 6

Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成18年 春季号

がんばれ日本代表！ 神山、富塚！

JOCジュニアオリンピックカップ

4月22～23日、横浜文化体育館において「JOCジュニアオリンピックカップ」が行われた。本県からも多数の選手が参加、その中で、カデット・フリー46kg級に出場した神山直人（太商高2年）が粘り強いレスリングを見せ、決勝で見事なフォール勝ちで優勝。さらに、カデット・グレコ58kg級で富塚拓也（関学大附高2年）が豪快なリフト技を連発して優勝。8月にタイで開催されるアジアカデットの出場権を獲得した。また、ジュニア・グレコ60kg級で松本隆太郎が完勝し、世界ジュニア（グアテマラ）の出場権に併せて「オリンピックゴールドメダル賞」というビッグタイトルも獲得した。本県出身者の松本篤史（日体大1年）、藤本麻希（大東文化大1年）、新井千明（富実高2年）、桐渕沙織（〃）、中村なぎさ（関学大附高1年）らが3位入賞を果たした。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 兵藤三郎 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第6回

明和レスリングクラブ



明るく和やかなクラブ！
高校、大学まで繋げたい

明和クラブ誕生の基盤となったのは、平成7年から約2年間、明和村主催により館林商工高で行っていた「レスリング教室」でした。講師は当時西邑楽高監督の金子博さん。「せっかく集まったのだからこのままクラブにしよう」と平成10年にクラブがスタート、道場は監督の阿部光一さんが当時勤務していた明和中。阿部さんの仲人であり前レス協会長の故・野村浩さんの鶴の一声によりマットが設置されました。しかし、なかなか子供が集まらず存続が危ぶまれましたが、必死のスカウト活動により徐々に増員。その中にはクラブ代表者・篠木弘樹さんが声をかけた、今号の表紙にも登場している富塚拓也君がいました。小2から始めた富塚君は、コーチの坂上桂一さんとまるで核融合したかのようにレスリング熱が燃焼しました。「子供たちに夢を与えたい。そして大学までレスリングを続けて、社会に出て人に信頼される人間になってほしい」。柔和な表情ながら真剣な眼差しで指導方針を明示してくれた坂上コーチ。その言葉に込めるかのように、元氣いっぱいに動き回る子供たちの姿が印象的でした。

■練習日 毎週火・土曜日・明和中武道館（現在改修のため明和西小）

SCHEDULE

■関東高校レスリング大会

6月3日（土）・4日（日）
茨城県スポーツセンター

■沼尻直杯全国中学生レスリング選手権大会

6月10日（土）・11日（日）
茨城県スポーツセンター

■インターハイ予選会兼全国高校グレコ選手権予選会

6月17日（土）・18日（日）
館林市民体育館

■国民体育大会予選会

7月16日（日）～17日（月）
西邑楽高校体育館

■全国少年レスリング選手権

7月21日（金）～23日（日）
東京・駒沢公園体育館

メダル
（思い出の一夜）

大橋信雄さん（太田市・66歳）

□この写真は昭和51年、高田裕司さんがモントリオールオリンピックで金メダルを獲得したことを祝い、地元太田市で凱旋パレードをしたときの1枚です。当時は「高田裕司後援会」があり、その会長が市の体育課長だった熊井誠二さん。熊井さんの音頭でパレードが企画され、協会事務局長だった私を運転手に推してくれました。高崎レンタリースで高級オープンカーを借りて、高田選手と戸澤市長、市レス協・岡田喜四郎会長を乗せて市内を回りました。パレードは、私の想像をはるかに超えて盛大なものとなりました。大観衆を縫うようにしてソロソロ走りながら、テレビ局や新聞社の取材のすごさに驚き「オレもすごい光栄なことをやっているんだな」と感じました。太田駅を出発して藤阿久を通りふじや会館でゴールしてそこで祝宴。こんな経験は2度とないでしょうね。

GOOD ぐんまの 新鮮レスラー!



阿部 雅幸選手 (館林商工高校1年)

中学まではずっと柔道を続けていました。高校は早くから館林商工に行く決めていましたが、柔道部がなかったの、先生の誘いもありレスリング部に入りました。柔道もレスリングもそんなに違いはないと思いますが、全然違いました。まず練習が厳しい。でも、やりがいのあるスポーツだと思います。目標ですか? 今はインターハイ「出場」にしておきます(笑)。

大会 MVP は中学生が武藤吹、小学生では柴崎仁沙が獲得した。
各階級の優勝者は次のとおり。
【中学生】◇42 K g 武藤吹(千代田) ◇47 K g 鈴木海人(太田) ◇53 K g 菊井悠介(伊勢崎) ◇59 K g 橋口光太郎(館林) ◇66 K g 木村政貴(千代田) ◇73 K g 武藤駿(〃)
【小学5〜6年生】◇30 K g 寺田光輝(太田) ◇34 K g 木村安里(千代田) ◇39 K g 柴崎仁沙(館林) ◇45 K g 坂本瑞季(大間々) ◇51 K g 藪塚尚登(〃)
【小学3〜4年生】◇24 K g 八山裕紀(千代田) ◇28 K g 佐々木拓海(太田) ◇33 K g 田口拓海(明和) ◇39 K g 木村優太(千代田) ◇42 K g 石岩寛鷹(邑楽)

**太田倶楽部が大活躍!
柴崎残り1秒で逆転!
少年レスリングおおま大会**
3月19日(日)、大間々東中体育館において「第11回少年少女レスリングおおま大会」が行われた。注目が集まった試合は女子42キログラム級決

【小学1〜2年生】◇20 K g 武藤零(千代田) ◇24 K g 正田和輝(伊勢崎) ◇28 K g 柳谷太一(太田) ◇28 K g 田部井祐太(邑楽)
【幼年の部】◇17 K g 藤生乙葉(大間々) ◇21 K g 石川弘人(邑楽) ◇21 K g 後藤起位(館林)

勝、柴崎仁沙(館林)と金子和(千代田)の群馬クイーン対決。0対1でリードされていた柴崎がラスト1秒で金子の体を反転させ逆転優勝。また、4階級で優勝した太田倶楽部は団体の部で「少年第3位」「中学生第1位」という好成績を収め、その日に行われた「17年度納会」が盛大だったそう。
県内選手の優勝者は次のとおり。
【中学生】◇59 K g 橋口光太郎(館林) ◇73 K g 津久井光司(太田)
【小学5〜6年生】◇155 K g 今村聖(〃)
【女子3〜6年生】◇42 K g 柴崎仁沙(館林) ◇42 K g 鈴木紅夏(太田)
【小学1〜2年生】◇28 K g 柳谷参助(〃)



団体の部で入賞し表彰を受ける今村聖

前西高、新体育館完成! 打倒館高で合宿敢行!

今年度、前橋西高校に新しい体育館が完成した。4月16日(日)、その体育館に設置された道場の写真を撮るため体育館の中に入ると、新築の香りを打ち消すかのようなスパイリングの「熱気」に迎えられた。この日はちょうど群馬大学、新潟県央工業、上田西高校を招き、強化合宿が行われていた。前西高の小林希監督は、「まずは県代表を勝ち取りインターハイに出場することが目標」と、前任高であった館高を倒すことが始めの一步だと語る。これに呼応し館高が発奮して、それが相乗効果となり、群馬県のレベルアップにつながっていくことに期待したい。



新設された体育館で熱気あふれる合宿!

館高25度目の優勝! 60キロは増谷制す

群馬県高校総体レスリング

5月12日〜14日、館林市民体育館において「群馬県高校総体レスリング競技会」が行われ、団体戦、個人戦が争われた。団体戦は館高が25度目となる優勝を飾った。個人戦では関東大会の予選を兼ねているため、白熱した試合が続いた。特に注目が集まった試合はフリー60キログラム級。関東選抜王者の増谷VS JOC王者の富塚戦は勝負に出た増谷のがぶり返しが決まりフォール勝ち。見ごたえのある「名勝負数え歌」となった。なお、各階級の優勝者は次のとおり。

【個人戦フリー】◇50 K g 福田良太(前西高3年) ◇55 K g 高橋遼(西邑楽高3年) ◇60 K g 増谷一樹(館高3年) ◇66 K g 西脇健紘(前西高3年) ◇74 K g 増田啓佑(関学大附高3年) ◇84 K g 高橋典之(館高3年) ◇96 K g 中里一也(〃2年) ◇120 K g 板橋雄斗(西邑楽高3年)
【個人戦グレコローマン】◇60 K g 富塚拓也(関学大附高2年) ◇84 K g 福田翼(富実高2年)
※その他の階級はフリー優勝者と同じ
【女子個人対抗戦】◇軽量級 齊田里香(前西高3年) ◇中量級 新井千明(富実高2年) ◇重量級 桐淵沙織(〃2年)

新井千明・柴崎仁沙準V 入賞者ラッシュに沸く! ジャパン・クイーンズカップ

3月28日(火)、東京・駒沢公園体育館において「ジャパンクイーンズカップ」が開かれた。本県からもクイーンを目指して多数の女子選手が出場。特に、2月の関東甲信越大会で県内女子選手として唯一優勝を果たした柴崎仁沙が実力を発揮し準

優勝。富実高の新井千明と共に銀メダルを獲得した。

入賞した選手は次のとおり
【カデット】◇46 K g級 ③中村なぎさ(太田) ◇60 K g級 ②新井千明(富実高) ③桐淵沙織(〃)
【スクールガール】◇57 K g級 ③渡辺南美(OTA)
【キッズ5〜6年生】◇30 K g級 ③大関蘭(OTA) ◇33 K g級 ③木村安里(千代田) ◇40 K g級 ②柴崎仁沙(館林) ③仲村理沙(伊勢崎) ◇40 K g級 ③鈴木紅夏(太田)
【キッズ3〜4年生】◇33 K g級 ③鈴木芽衣(〃) ◇33 K g級 ③井上真央(明和)
【キッズ1〜2年生】◇28 K g級 ②阿部友香(明和)

武藤吹、新風吹かす! 坂本瑞季、努力花咲く! 館林市民春季レスリング大会

5月13日(土)、城沼総合体育館において「平成18年度館林市民春季レスリング大会」が行われた。GW合宿に参加した選手にとっては、寝食を共にした戦友が今日は対戦相手。毎回激戦となる注目の小学5〜6年45 K g級は大間々クラブの坂本瑞季が練習の成果を発揮し、見事初優勝。

なでしこGUNMAの

レスクイーン



伊勢崎スパークラース
永井模生さん

レスリングを始めたのは小学1年生のときです。それから「レスリングは楽しい」と思い、ずっと続けています。ライバルはひたちなクラブの井場里美選手です。目標のレスラーは浜口京子さん。つらい練習に耐えて世界の頂点に登ったのはやっぱり努力だと思います。私もそんな選手になりたいです。レスリングで楽しかった思い出といえば、去年、太田市で行われた「レスリングフェスタ」です。私は中学生と対戦して負けてしまいましたが、そのあと、憧れの浜口京子さんにアドバイスをしていただき、とてもいい思い出になりました。